

地域協働学校だより No.4

令和2年11月2日
新宿区立市谷小学校
地域協働学校運営協議会

地域協働学校からのご報告です。10月12日、24日の二日間にわたり行われた学年別運動会を見学させていただきましたので、御報告させていただきます。

コロナに負けず、学年別運動会！



密を避ける生活ということから様々な学校行事も中止を余儀なくされる中、市谷小では感染防止対策をとりつつ学年別運動会が行われました。日程を二日に分けて各学年1時間ずつ、観客(保護者)も完全入れ替え制にし、入場時には検温と手指のアルコール消毒を行うという異例尽くしでの開催でしたが、その学年ごとの成長ぶりが感じられる楽しい運動会となりました。特に6年生は、短い時間の中に、競技や係分担に加えてラジオ体操・国旗校旗掲揚・応援団・校歌斉唱などすべての要素を取り入れたミニ運動会を完成させていました。



10月12日(月) 1～3年の部



当初予定していた10月10日(土)が雨天延期になり、12日(月)1校時～3校時、身体を動かすには丁度良いお天気の中、学年別運動会(1～3年の部)が行われました。平日にも関わらず、沢山の保護者の方が観覧されました。

まずは3年生の登場です。通常では高学年が行っている司会進行を3年生が見事に務め、開会式の代表の言葉も秋空に元気良く響きました。去年より20m延びた『60m走』のあと、表現『FANTASISTA!!市谷115』ではエアロビクスのように飛び跳ねながらの組体操のフォーメーションが見事でした。また市谷小115周年に因み、学校の伝統や歴史を

調べた事を一人一人が大きな声で発表し、とてもたくましく感じました。

1年生はとても可愛い準備運動から始まり、初めての『40m走』をカー杯に走り、『チェッコリ玉入れ』(1対1の同点でした)を元気に楽しんでいる姿が、微笑ましく感じました。

2年生は、『笑顔を大切に力を合わせて運動会を成功させる』をモットーに、『40m走』『EXパプリカダンス』をみんな素敵な笑顔で行っていました。1年でこんなにもお兄さんお姉さんになるものかと成長を感じました。

子供たち先生方そして保護者も皆一様に笑顔で、限られた時間の中、少しでも子供たちに行事を体験させようという先生方の思いも感じました。



10月24日(土) 4～6年の部

学年別運動会4～6年の部は、見事な秋晴れの下で行われました。保護者の皆様のご協力で検温・消毒も大変スムーズでした。

最初は4年生の『60m 走』と『縄柱 2020』の表現でした。鬼滅の刃をイメージしたカッコいいポーズとそれぞれの得意技の縄跳びを、隊形移動も合わせて見事に披露しました。通常の運動会では上級生に任せる挨拶の言葉や進行もとても立派にこなしていました。



コロナ禍の下での学校行事開催には様々な制限が伴い、市谷小の先生方も悩まれる点が多かったと思います。中止にしてしまうのは簡単でも、一つ一つ相談を重ね、課題を克服して実現していただいた行事は児童にとってかけがえのない経験となったことでしょう。



次の5年生は『100m 走』と団体競技『集まれ 玉入れの森』。チェッコリの音楽が鳴った時には、グラウンドの隅で見学していた1年生も嬉しそうに踊っていました。後半は先生が背負ったかごをめがけての玉入れで、退場の時には列ごとに工夫を凝らしたパフォーマンスを見せてくれました。

6年生のスローガンは【あきらめない心をもつ 思い出に残る 秋の運動会】。例年だと紅白の応援合戦がありますが、今年は6年生応援団による6年生に向けてのエールで、下級生たちは屋上、ベランダ、外階段から見学し、盛んな拍手を送っていました。『100m 走』では競技のみならずゴールテープ係や順位係もこなし、力を出し切った団体競技の『棒引き』は観客も力が入りました。競技の準備やルール説明も非常に手際が良くて感心しました。チーム市谷6年生のパワーを見た気がしました。

観覧した保護者の方からは、「やってもらってよかった」「学年別のため応援の声が少なかったのは残念だったが、近くでよく見られて、自分の子だけでなくお友達の様子も良く見えた。」「親子で楽しみにできる行事が一つでもあってよかった」「ほかに行事が無かったから、6年生の立派な姿が見られてうれしかった」などの声が聞かれました。